



# NIT HIROSHIMA 学校だより

No.68

## CONTENTS

校長挨拶	1	卒業生表彰	10
教務主事報告	2	学生会活動	11
学生主事報告	3	商船祭	13
寮務主事報告	4	学校の取組（地域貢献活動）	15
学生相談室報告	5	ニュースダイジェスト	17
クラブ活動報告	6	国際交流室活動	19
クラブ活動等の大会報告	7	新任教員紹介	20
在学生表彰	9		

## 校長挨拶

-対「少子化」戦争-



校長  
へんみ しん  
逸見 真

皆様には平素より本校への格別のご理解とご支援とを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて唐突とはなりますが、

- ◆中国地方の過去20年間の出生数40%減
- ◆2033年までに広島県内県立高校22校を統廃合し9校に再編の予定
- ◆竹原市の県立竹原高校(明治39年創立)、忠海高校(明治30年創立)の廃校一校化

上記のデータは急速かつ確実に迫りつつある少子化の現状とその影響です。他の教育機関と同様、広島商船の存続に如何なる危機をもたらすかについては論を俟ちません。当該の危機とは率直に本校の消滅への流れであり、まずもって現在及び将来の最大急務はこの回避にあります。最悪の結果を招かすれば伝統ある校史は消滅し、卒業生は母校としての拠り所を失い、更に教職員の去就も惹起されます。少子化による影響は大敵かつ強敵なのであり、これを迎え撃つわれわれは正に戦時下にあると例え得るでしょう。既に高専間での学生の獲得競争も始まっています。人的資源、予算の限られる中であって、得られる情報を基にすべての可能性を探り、本校存続を

かけて長期的な戦略を確立、具体的な戦術的対策を果敢に実施していく必要があります。

本校が一丸となり取り組む中学生あるいは小学生向け広報活動を概観すれば、

- HPのリニューアル(25年春実施)と掲載広報の発展的更新
- オープンスクール、学校説明会の年複数回開催と内容の充実
- 県内及び中国地方の中学校訪問、出前授業、首都圏・近畿圏の中学校広報
- 地元広報誌、学習塾を利用した広報

しかしまたこれらはどの学校も取り組む定番であるところ、本校ならではの手法として、

- ・附属練習船による船内見学、体験航海を実施しています。広島丸は令和10年初頭に代船が竣工する予定ですが、広報の一環として追い風になることと期待されます。そして、
- ・およそ20年振りの制服新調(令和9年入学生より実施予定)

も、入学倍率向上に寄与するものと確信しているところです。

こうした広報活動には更なるアイデア、オリジナリティがあれば格別、あらゆる選択肢を排除せず鋭意取り組む所存です。願わくば皆様のお智恵を是非、拝借致したく、ここにお願ひする次第です。

ところで私事とはなりますが、私も母校を失った一人です。東京にある大学は未だキャンパスも校舎も健在ですが、他学との統合によりかつての名前はなくなりました。本校OBOG、学生諸子にあっては未来永劫、想い出多き校名と学び舎が人々の記憶から去り行く寂寥感と無縁であって欲しい、今はその一心しかありません。

# 教務主事報告

教務主事 河村 義顕

## ●大学・高専機能強化支援事業に伴う学科改組

本年度入学生より、DX・GX社会において活躍できる情報技術やその応用力を身につけ、電子・電気工学、機械工学あるいは流通・経営分野の専門知識とこれら分野に応用しうる管理工学などの専門的技術を有する技術者の育成するため、電子制御工学科と流通情報工学科を統合した総合科学科を設置し、商船学科と合わせて2学科に学科改組をしました。総合科学科は2年進級時で電子情報システムまたは流通情報マネジメント系のどちらかを選択し、3年進級時に電子情報システム系は電子システムコースまたは電子情報コース、流通マネジメント系は流通マネジメントコースまたは流通情報コースを選択するカリキュラムになっております。

商船学科につきましてもカリキュラムを一部改正し、全学科の学生が数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎)を必修科目として、さらにイノベーションスタート、無人航空機、モビリティサイバーセキュリティ、海洋利用運用、半導体デバイス・プロセス技術といった新分野についても、全学生が履修できる選択科目として設置しました。この改正により、全学生が自分の学習した分野においても、学んだDX・GXにかかる知識や技能を活かし、活躍できることを期待しています。

## ●スタディサプリの導入

スタディサプリは学び直しを目的とした①社会人基礎力の育成②一般教科の学び直し③キャリア教育を目的とした学習支援ツールで、自学自習をサポートする主要科目+情報科目の講義動画、就職活動支援のための資格検定や小論文対策などの動画コンテンツを利用することができます。

特に自分自身の理解が十分でない、あるいはこれから身につけるべき資質が何かといったメタ認知能力を習慣的にする教材としては非常に有効であると考えております。

特別活動などを通じて、学生自身が学びを進める習慣を定着させていきたいと思っております。

## ●PROGテストの導入

PROGテストとは、専攻・専門に関わらず社会に求められるジェネリックスキル(汎用的な能力・態度・志向)を測定するテストで、「リテラシー」と「コンピテンシー」の2側面から測定・可視化し、客観的評価の指標を設けることで、教育成果の検証を行うことができます。

「リテラシー」とは新しい問題やこれまで経験のない問題に対して知識を活用して課題を解決する力、「コンピテンシー」とは取り巻く環境に実践的に対処する力、周囲の状況に上手に対応するために身に付けた意思決定・行動指針などの特性を指します。

本校では特別活動の時間などを利用して実施し、その結果の分析方法についても解説の講演を設けております。その結果から自分の志向や行動特性について客観的分析をし、学生が自分の進路決定に役立てることを期待しています。

# 学生主事報告

学生主事 内山 憲子

## ◆新入生オリエンテーション

4月8日(火)～9日(水)に広島市三滝少年自然の家で新入生オリエンテーションを行いました。近年では校外でオリエン実施する高専は少ないですが、本校では新入生が新しい学校生活や環境にスムーズに適応して、多くの学生と潤滑なコミュニケーションがとれるように、新生活の土台作りをサポートしています。当日は、学生会とクラブ主将などから編成されるピアサポーターリーダーが30名同行し、先輩との交流などを通して楽しく充実した日程を終えることができました。

## ◆高専体育大会

今年度の中国地区高専体育大会では、剣道部・陸上部・水泳部が、九州地区で行われる全国高専体育大会出場の切符を掴みました。全国大会では、剣道部が団体ベスト8、男子個人戦では電子2年の森川心学生が3位になりました。陸上部では商船4年 富永凜子学生が女子円盤投げ3位 になりました。

## ◆全国商船高専漕艇大会

7月12日(土)、13日(日)に全国商船高専漕艇大会が本校で開催されました。本校は、AチームBチームとも快漕し、見事アベック優勝の快挙を果たすことができました。

## ◆警察講話 (予防教育)

7月に警察を招き、1年生に対しては「SNSでの正しい使い方」と「交通安全教育」について、2年生に対しては「薬物について」、3年生に対しては「闇バイト」について予防教育の一環として講義をして頂きました。

## ◆高専ロボットコンテスト

10月5日(日)に、高専ロボコン2025 中国地区大会が防府市スポーツセンターで開催されました。本校Aチーム(チーム名:厳島)はデザイン賞を獲得し、全国大会にも出場することができました。Bチーム(チーム名:つばめ)は、特別賞(ローム株式会社)を受賞しました

## ◆学生と教職員との懇談会

昨年度から、年2回の学生と教職員との懇談会を行っています。これは、学校の教育環境、課外活動環境、寮生活環境等に関して、学生が主体となって風通しの良い学校環境を作ることを目指して行うものです。今年も、学生会が中心となり、学生の意見を収集し、教職員に直接意見を述べ、建設的な意見交換をする場を持ちました。

## ◆四者の会

学校・警察・少年補導員・PTAの四者で協力して、青少年の育成指導を行うものですが、6月と10月には、学生会と一緒にフェリー利用をする学生らに対して、自転車の防犯指導の声掛けとチラシ配布を行いました。

## ◆地域清掃活動

学生会と有志学生らが年間4回(6月・8月・10月・2月)にわたり、学校エリア外に清掃区域を広げて清掃活動を行っています。地域を単にきれいにすることが目的でなく、環境意識や美化意識の向上、地域社会とのつながり強化を図る活動になっています。

# 寮務主事報告

-若潮寮の現状について-

寮務主事 平井 剛和

今年度の若潮寮は、1年生100名(男子80名、女子20名)、留学生2名(男子2名)の新入寮生を迎え入れ、全寮生数は421名(全学生数の61%)となりました

## ◇学寮生活について

今年度の大きな変更点としましては、殆どの高専が行っているように、後期より本校の直接雇用による3名の寮生指導員(男性2名、女性1名)に当直業務をお願いし、寮生活のサポートをして頂ける体制を整えました。これに伴い寮の日課(点呼の時間など)を若干変更いたしました。

令和7年度もインフルエンザ感染症が流行し、本校でも多くの寮生が罹患しましたが、予防に対する学生の意識の向上および保護者のみなさまのご協力のおかげで、寮内拡大は最小限に防げたのではないかと考えております。

令和7年度からの学科改組による定員増のため、寮生の定員超過となることが見込まれております。それに伴い再入寮が叶わない場合がございます。このことにつきまして、新入寮生を受け入れるためにも、ご理解とご協力をお願いいたします。

若潮寮は、建物を含め、さまざまな設備が老朽化してきております。それに伴い、設備面や衛生面などにおいて、寮生はさまざまな不便や不満を抱えていることと思われます。また、寮の治安や運営のために、新たな規則を設けることもありますし、罰則を科したりする場合もございます。より良い学生寮となるよう、寮務主事室が中心となって、これからも寮生活の見直しおよび改善を図りながら運営を行って参ります。

寮生および保護者のみなさまにおかれましては、今後も学生寮の運営につきまして、引き続きご理解のほどよろしくお願い致します。

## ◇寮内イベント

7月10日(木)には、寮生会主催でかき氷大会が開催されました。様々な種類のフレーバーが用意され、開催中は多くの寮生で賑わいました。また、実施には至りませんでした。かき氷大会以外に様々なイベントを企画してくれました。

学生の立場から、より良い学生寮となるよう寮内の生活指導など日々活動している寮生会には、寮務主事室として今後も期待しているところです。



かき氷大会の様子

## 学生相談室報告

高専には、15歳から22歳までの青春期の多感な年齢の学生がいます。学生たちの様々な悩みや相談に応じるために、学生相談室を開設しています。

学生相談室のスタッフは、学生相談室長、相談員(教員)4名、看護師 2名、非常勤カウンセラー(臨床心理士)2名、スクールソーシャルワーカー1名の計12名で構成されています。誰でも気軽に利用できる体制をとっており、特に悩みがなくても、医務室に立ち寄って話を聞いたり聞いてもらったりと、心のバランスを保つために学生相談室を利用する学生は増えています。

さて、令和7年度の学生相談室の取り組みを以下に紹介します。

3~4月	合理的配慮検討委員会
5月	学生相談室だより
	こころと体の健康調査 学生生活アンケート
8月	学生生活アンケート(保護者用)
10月	学生生活アンケート
12月	こころと体の健康調査
2月	学生生活アンケート

「学生生活アンケート」や「こころと体の健康調査」を1年の間に複数回実施することにより、学生の心と体の健康を見守っています。自分自身では気付かない心のストレスを早期に発見すると共に、担任の先生をはじめ、学校全体で早期に解決できる手助けができるよう努めています。

それと同時に、全教職員のいじめ防止に関する理解が確実に定着するよう、積極的な取り組みも進めています。いじめ定義の周知、学校いじめ対策委員会の年間計画策定、いじめ防止プログラムや早期発見・事案対処マニュアルの周知、いじめに関する研

修の実施など、本校だけでなく、高専全体として取り組みが進められています。

### いじめの定義

~いじめ防止対策推進法第二条~

いじめとは、学生に対して、当該学生が本校に在籍している等当該学生と一定の人的関係にある他の学生が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった学生が心身の苦痛を感じているものをいう

カウンセラーとスクールソーシャルワーカーによるカウンセリングは、どのような相談にも応じております。友人関係・家族関係、先輩・後輩関係、男女の交友関係、寮生活、勉強のこと、就職・進学のこと、健康のこと等、どのような内容でも相談に来てください。「この程度で相談していいのかな」と思うような小さな不安こそ、気軽に相談してください。悩みは1人で抱え込まずに、誰かに話すことで楽になることもあります。相談内容の秘密は厳守します。相談者に不利益が生じることはありませんので、安心してご利用ください。また、教職員のカウンセリングも実施しております。

スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの面談を希望する場合は、予約をお勧めします。予約は医務室で受け付けています。希望される方は、学生相談室スタッフや話しやすい先生、または直接医務室までお問合せください。

今後も様々な取り組みを継続し、すべての学生が安心して学校生活・寮生活を送れるよう、全力でサポートしていきます。

# クラブ活動報告

## 剣道部

本校剣道部の活動は、平日練習に加えて、週末は公式試合(高体連)に参加したり、他高専との練習試合を前向きに組むようにしています。勝負勘を養うことも重要ですが、他の学校の部員との交流を楽しんだり、刺激を受けて、それらを日々の練習に還元することも大切と考えています。

さて、7月5日～6日に尾道市長原スポーツセンターで開催された第61回中国地区高等専門学校体育大会において、本校剣道部は、男子団体の部で、2018年以来の優勝を果たしました。近年、僅差で地区優勝や全国高専出場を逃していただけに、部員たちの努力や、宮本コーチや保護者の方々のご援助が報われた形となり、大変喜ばしい限りです。

また、8月30日～31日に、おおむたアリーナで開催された全国高専体育大会においては、現地で校長先生も見守る中、初日、男子個人の部で、電子2年森川心君が第3位に入賞する快挙。2日目、男子団体の部では、初戦で名門・鈴鹿高専を3-2で撃破したものの、2回戦で優勝校の有明高専に1-3で敗れてしまいました。今回、勝ち切れなかったことは残念でしたが、全国の舞台で大変貴重な経験をさせていただきました。来年も中国地区予選を勝ち抜き、全国入賞を目指します。

## SES同好会

38回目の大会となったアイデア対決全国高等専門学校ロボットコンテスト2025(高専ロボコン)において、流通3年坂口拓海君、電子3年井上心論君、岡野泰成君をはじめとする8人の広島商船Aチーム『厳島』は、10月の中国地区大会推薦チームとして全国大会に出場しました。4月末のルール発表から大会まで休日返上で活動し、2023年に続き2年ぶりに国技館で戦うことができました。

今年の競技課題は『Great High Gate』、ロボットがボックスを積み上げてゲートをつくり、そのゲートを人が乗った台車と一緒に通過します。中国地区大会では決勝トーナメントにてゲートに見立てた『大鳥居』を組み上げて通過し、会場を沸かせました。このアイデアが評価され、全国大会への切符を手に入れました。

11月の全国大会では、1回戦で国際高専と対戦し、試合序盤でロボットの一部の機構が破損したため、狙い通りのボックス移動と組み上げができず本意な結果となりました。大会に出場したことで、アイデア出しから製作までのすべての過程で多くの改善すべきことが明らかになったので、次の大会に向けてもっと信頼性のある強いロボットとなるよう、SES同好会メンバー全員でがんばります。



剣道部



SES同好会 国技館 支部部屋(ビット)にて

## クラブ活動等の大会報告 (一部抜粋)

### ●第61回中国地区高等専門学校体育大会 成績一覧

競技	開催日	種目	成績	クラス	氏名
陸上競技	令和7年 7月4日(金) ～5日(土)	男子100m	3位	商船3年	京谷 誉
		男子200m	3位	商船3年	京谷 誉
		男子1500m	2位	電子5年	宮崎 智也
		男子5000m	3位	商船3年	吉田 海音
		男子走幅跳	1位	商船3年	川迫 洸貴
		男子砲丸投	3位	流通5年	守田 圭佑
		女子100m	2位	流通2年	大下 莉奈
		女子200m	2位	流通4年	近藤 瑚々
		女子4×100mR	1位	商船1年	田中 夏希
				流通2年	大下 莉奈
	流通2年		遠藤 陽菜		
	流通4年		近藤 瑚々		
女子走幅跳	2位	流通2年	大下 莉奈		
水泳	令和7年 7月5日(土)	男子自由形800m	2位	商船2年	高橋 左京
		男子平泳ぎ100m	3位	商船3年	山本 大成
		男子平泳ぎ200m	2位	商船3年	山本 大成
		男子バタフライ100m	4位	電子2年	吉野 友稀
剣道	令和7年 7月5日(土) ～6日(日)	男子団体戦	1位		
		男子個人戦	2位	電子2年	森川 心
			4位	電子2年	松本 真輝

### ●第60全国高等専門学校体育大会 成績一覧

競技	開催日	種目	成績	クラス	氏名
陸上競技	令和7年 8月29日(金) ～30日(土)	男子走幅跳	7位	商船3年	川迫 洸貴
		女子100m	7位	流通2年	大下 莉奈
		女子200m	4位	流通2年	大下 莉奈
		女子円盤投	3位	商船4年	富永 凜子
剣道	令和7年 8月30日(土) ～31日(日)	男子団体戦	ベスト8		
		男子個人戦	3位	電子2年	森川 心

### ●第51回瀬戸内商船高等専門学校2校定期戦

期日:期日:令和7年6月14日(土)

種目	広島会場				
		広島	—	弓削	
卓球	○	9	—	1	×
サッカー	×	1 (3)	— PK	1 (4)	○
バスケットボール(男子)	×	71	—	75	○
バスケットボール(女子)	×	14	—	43	○

種目	弓削会場				
		広島	—	弓削	
柔道	○	4	—	1	×
剣道(男子)	×	2(4)	—	3(6)	○
剣道(女子)	×	0(0)	—	3(6)	○
硬式野球	○	6	—	0	×
バドミントン(男子)	○	2	—	1	×
バドミントン(女子)	×	0	—	3	○
漕艇	○	2	—	0	×

## クラブ活動等の大会報告 (一部抜粋)

### ●第60回全国商船高等専門学校漕艇大会

期日:令和7年7月13日(日)  
会場:広島商船高等専門学校  
Aチーム 優勝(9' 02" 19)  
Bチーム 優勝(9' 41" 74)



第60回全国商船高専漕艇大会

### ●第40回瀬戸内商船高等専門学校漕艇大会

期日:令和7年10月18日(土)  
会場:弓削商船高等専門学校  
Aチーム 優勝(8' 51" 58)  
Bチーム 優勝(9' 23" 02)

### ●第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト

期日:令和7年10月11日(土)・12日(日)  
会場:島根県立産業交流会館 くにびきメッセ  
自由部門 株式会社ブロードリーフ企業賞  
作品タイトル SORAMIMI -音声認識を用いた  
自動伝票作成・管理システム-



第41回中国地区高専英語弁論大会

### ●第41回中国地区高等専門学校英語弁論大会

期日:令和7年10月18日(土)・19日(日)  
会場:呉工業高等専門学校  
暗唱部門 優勝 商船1年 谷本 佑太

### ●アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025

【中国地区大会】  
期日:令和7年10月5日(日)  
会場:山口県防府市スポーツセンター  
Aチーム【厳島】デザイン賞  
流通3年 坂口 拓海  
電子3年 井上 心論  
電子3年 岡野 泰成  
Bチーム【つばめ】特別賞(ローム株式会社)  
電子2年 筈谷 徹也  
電子3年 松本 淳平  
電子2年 高下 壮太



高専ロボコン2025中国地区大会

### 【全国大会】

期日:令和7年11月16日(日)  
会場:両国国技館  
Aチーム【厳島】  
流通3年 坂口 拓海  
電子3年 井上 心論  
電子3年 岡野 泰成

## 在学生表彰

令和7年度課外活動等における本校功労賞受賞者・受賞団体（前期）

### ●功労賞

大会名等	種目等	成績	クラス	氏名
第78回広島県高等学校総合体育大会尾三地区予選	剣道個人(女子)	優勝	総合科学1年	日村 彩希
	剣道個人(男子)	優勝	電子2年	森川 心
	剣道団体(男子)	優勝		
	陸上200m(男子)	優勝	商船3年	京谷 誉
	陸上走幅跳(男子)	優勝	商船3年	川迫 洸貴
	陸上200m(女子)	優勝	流通2年	大下 莉奈
令和7年度福山地区・尾三地区夏季水泳競技大会（県総体予選）	水泳平泳ぎ100m(男子)	優勝	商船3年	山本 大成
	水泳背泳ぎ100m(男子)	優勝	電子3年	竹下 結
	水泳自由形200m(男子)	優勝	商船2年	高橋 左京
	水泳4×100mメドレーリレー(男子)	優勝		
第61回中国地区高等専門学校体育大会	陸上走幅跳(男子)	優勝	商船3年	川迫 洸貴
	陸上4×100m R_(女子)	優勝		
	剣道団体(男子)	優勝		
第60回全国商船高等専門学校漕艇大会	漕艇Aチーム	優勝		
	漕艇Bチーム	優勝		
第73回中国高等学校選手権水泳競技大会	水泳平泳ぎ100m(男子)	出場	商船3年	山本 大成

## 卒業生受賞者

### ●令和6年度

#### 1. 学外

電気・情報関連学会中国支部

学 科 名	氏 名
電子制御工学科	佐々木 海人
流通情報工学科	寄能 和佳

#### 2. 学内

功劳賞（学生会活動）

学 科 名	氏 名
流通情報工学科	濱口 万旺

功劳賞（寮生会活動）

学 科 名	氏 名
電子制御工学科	佐々木 海斗
流通情報工学科	秋田 紅葉

功劳賞（課外活動）

学 科 名	氏 名
電子制御工学科	上野 悠斗
流通情報工学科	祐本 菜々美
流通情報工学科	武田 耀

特別功劳賞

学 科 名	氏 名
流通情報工学科	秋田 紅葉
流通情報工学科	西原 実夢

皆勤賞

学 科 名	氏 名
電子制御工学科	川本 結大
電子制御工学科	塩田 望人
電子制御工学科	多々見 圭亮
電子制御工学科	松山 朗大
電子制御工学科	XIONG CIONGDOUA VA
流通情報工学科	秋田 紅葉
流通情報工学科	平本 輝斗

### ●令和7年度

#### 1. 学外

一般社団法人 全日本船舶職員協会

学 科 名	氏 名
商船学科航海コース	三宅 那実
商船学科機関コース	大野 紗来

公益財団法人 海技教育財団

学 科 名	氏 名
商船学科航海コース	下向井 美久
商船学科機関コース	小山 尤

公益社団法人 日本航海学会

学 科 名	氏 名
商船学科航海コース	岡本 柚実子

公益社団法人 日本船舶海洋工学会

学 科 名	氏 名
商船学科航海コース	三好 雅宗
商船学科機関コース	石川 智康

#### 2. 学内

功劳賞（学生会活動）

学 科 名	氏 名
商船学科機関コース	石川 智康

功劳賞（寮生会活動）

学 科 名	氏 名
商船学科機関コース	梶原 良太

功劳賞（課外活動）

学 科 名	氏 名
商船学科航海コース	橘 勇希
商船学科機関コース	富永 一葉
商船学科機関コース	稲田 駿登
商船学科機関コース	大野 紗来
商船学科機関コース	吉村 凌瑛

皆勤賞

学 科 名	氏 名
商船学科航海コース	横田 空来
商船学科機関コース	石川 智康
商船学科機関コース	大野 紗来

## 学生会活動

学生会長 稲富 心音

今年度、4年生8名・3年生1名の計9名の学生会執行部、1年生～4年生までの学生会メンバーで活動して参りました。学生からの意見を取り入れるなど、例年行っているイベントのグレードアップを行いました。また、学校説明会やオープンスクールでは、学生会活動の紹介をさせていただき、広報活動にも尽力いたしました。

### ◆新入生オリエンテーション

今年度は三滝少年自然の家で実施しました。新入生と学生会・部活動の代表者でグループ分けを行い、オリエンテーリングや交流イベントを通して上級生はリーダーシップ力やコミュニケーション力の向上、新入生は学校生活のイメージ作りや友達作りなど、充実した2日間を過ごすことができました。

オリエンテーション後も、ピアサポーター(上級生)は、新入生に対して試験対策や学校生活などにおける相談会を行いました。



### ◆クラスマッチ

6月と12月に体育局主催のクラスマッチを開催しました。6月にはドッジボール・モルック・カードゲーム・バレーボール(女子)・ソサイチ(男子)・男女混合リレー・借り物競争・綱引き・Ms.Mr.最速・強肩を行い、12月には、ドッジボール・モルック・カードゲーム・eスポーツ・バレーボール(男子)・ソフトボール(男子)・バドミントン(女子)・男女混合リレー・綱引きを行いました。



部活動対抗三人四脚、12月は部活動対抗リレーを行いました。どちらの競技も白熱し、盛り上がりました。



### ◆七イベント (文化局)

7月に文化局主催の七イベントを開催しました。校内を装飾し、笹も設置しました。短冊を用意し、学生や先生方をお願い事を書いていただきました。書いていただいたお願い事の中から抽選で叶える企画も実施しました。

## 学生会活動

### ◆クリスマスイベント（文化局）

12月に文化局主催のクリスマスイベントを開催しました。敷地内にイルミネーションや装飾を設置し、夜には幻想的な空間を作り上げました。フォトスポットも作成し、2日間限定のチェキ会も実施しました。冬の思い出作りの1つに多くの学生や先生方に参加いただきました。



### ◆挨拶・駐輪場整備・清掃活動（自治局）

毎朝、挨拶・駐輪場整備を行いました。また、校内に設置しているごみ箱のごみ回収や地域清掃にも参加しました。元気な挨拶や校内外がきれいなことで気持ちの良い学校生活を送ることができました。



### ◆教職員との懇談会

昨年度から学生の意見を共有する場として教職員との懇談会を実施しました。学生から募集した意見の中から多くいただいた意見を教職員の皆様に共有させていただきました。設備や規則上解決できないなど、普段なかなか行えない内容まで議論を深めました。風通しの良い学校作りに1歩近づけたと実感しています。

### ◆その他（広報局・会計局）

広報局が運営する学生会インスタグラムを通じて、学生会活動の広報活動を行いました。部活動の予算要望会を会計局主体で実施しました。昨年度の活動実績などから予算の希望額を提示していただき、理由をもとに検討しました。



### ◆おわりに

私は、5年間という小学校の次に長い時間を過ごすこの場所でいかに楽しく、「この学校でよかった」と思えるかが大切だと思っています。そのきっかけになるものを多く作りたいという想いで1年間活動して参りました。貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

また、この1年間学生会活動に協力・参加して下さった学生ならびに、教職員の皆様に心より感謝いたします。

## 商船祭

### 実行委員長

実行委員長を務めさせていただきました。D4の久住です。今年度の商船祭、皆様楽しんでいただけましたか？今回から金券、送迎バスなど新しい取り組みに挑戦してみました。私たち自身も初めてのことであったため皆様には多大なるご迷惑をかけてしまいました。

そんな中でも実行委員並びに先生方、多くの方々に協力していただいたおかげで2日間やり遂げることができました。来場された皆様の笑顔や温かい言葉が何よりの励みとなりました。

今年度の商船祭のテーマ「YOLO~you only live once~」これには人生は一度きりという意味が込められています。この意味の通り一度きりの人生、今回の商船祭が皆さんの心に残るものになっていれましょうと思います。

最後になりましたが、商船祭の開催に関わってくれたすべての方々に、心より感謝申し上げます。

### 配信トップ

今回配信係トップを務めさせていただきました。私は1年生から配信係として活動し、先輩方の配信やステージ演出を見て大きなプレッシャーを感じていました。今回のテーマ「YOLO」を胸に、今までにないステージ演出に挑戦しました。観客の皆さんが楽しんでいただけたなら幸いです。多くのトラブルを乗り越え成功出来たのは、トップ、係のみんなの支えのおかげです。

今後の商船祭の配信やステージ演出にもぜひご期待ください。

### 装飾トップ

装飾トップでした、岡林です。今年度の装飾はいかがでしたか？装飾係&お手伝いのみんなと一緒に楽しく作業ができてとてもいい経験をさせて貰えました。装飾に携わってくれた皆さん、先生方、フォトスポットに来てくれた皆さん、本当にありがとうございました！！



景品大会の様子

### バザー・備品トップ

バザー・備品トップを務めさせていただきました。D4稲富です。今年度はバザーと備品を1つにまとめ、より管理のしやすいようになりました。また、新たに金券制度の導入を行ったため、学生の皆さんにはいろいろな部分でご協力いただきました。心より感謝申し上げます。本校の一大イベントといえる商船祭を作り上げ、さらには新しく金券制度・送迎バスを行うといった貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。



イベントの様子

## 商船祭

### イベントトップ

第48回商船祭イベント係トップを務めました、中根愛夏です。今年度商船祭も楽しんでくださり、ありがとうございました！

私たちイベント係は、商船祭準備期間、毎日遅くまで学校に残って作業をしていました。

楽しいイベントにするにはどうしたらいいかと毎日話し合っって作り上げたイベントは、どれも大盛り上がりでした。

準備期間も当日も、辛かったり、頑張りを踏みにじられて悔しくて泣いたり、思い返せば苦しいことも多かったです。そんな中でも、腐らず頑張ってきたことが、それでも私は人に優しくあろうと思ってしたこと全てがまたあたたかく自分に返ってきて、今まで頑張ってきたよかったと思える商船祭でした。

来年の商船祭もおたのしみに！



実行委員の集合写真

### 会計・広報・総務トップ

商船祭では、会計・総務・広報の三役のトップを務めさせていただき、ありがとうございました。準備期間から当日まで大変なことも多く、責任の重さを感じる場面もありましたが、実行委員や各係の皆さんの協力のおかげで、無事に商船祭を終えることができました。特に金券導入にあたっては、多くの理解と協力をいただき、スムーズな運営につながったと感じています。また、各企業の皆様からの協賛金や、パンフレット制作に関わってくださった皆様のご協力に心より感謝しています。多くの方の支えがあって成り立った商船祭だったと、改めて実感しています。本当にありがとうございました。

### 駐車場・美化・受付

今年度の商船祭で、駐車場・美化・受付を担当させていただきました。

今年度は新しい挑戦が多く、様々な困難がありました。教職員の方々や先輩からのたくさんのアドバイスや学びは私の成長につながりました。

私たちの“やってみたい”を叶えるためには、学生や教職員だけではなく、来場者の方々の協力がなくてはならないと気付かされました。

皆様、ご協力いただきありがとうございました。

## 学校の取組(地域貢献活動)

本校では、地域貢献活動を推進することにより、教育支援・生涯学習・高齢者支援・障がい者支援・地域交流・地域人材育成などの事業等、幅広い分野で学生の交流を誘発し、地域の方との協働・交流を通じて、学生の学習意欲の向上に加え、他者理解力、課題解決力、マネジメント力等、社会で活躍するために必要な能力向上に役立てています。

地域等が主催する事業を通じて、地域社会との連携及び支援を推進することで、本校の教育研究の発展に寄与することを目的として地域貢献活動を実施しました。

今年度の学校の地域貢献活動について、主な活動をご紹介します。

### ●大崎上島中学校研修を実施

大崎上島中学校の1年生27名の研修を受け入れました。本校では毎年恒例のイベントとなっています。地元の中学生に本校を身近に感じてもらうべく高専とは何かをはじめとする全体説明からスタートし、広島丸船内見学や、技術教育センター棟を見学してもらいました。

参加者にとって、本校が将来の進路の選択肢の一つとして考えてもらえるきっかけになればと思います。



技術教育センター棟見学

### ●練習船広島丸を活用した海の上の避難訓練を実施

本校の練習船広島丸で、大崎上島町内の小学校児童を対象に海の上の避難訓練を開催しました。実際に練習船からの脱出訓練として飛び込み体験を行いました。児童たちは非常時に持ち出し用の食料や救命いかだなど普段目にすることがない器具を興味深そうに見入っていました。

また、実際に甲板から海に飛び込む際には落下する距離に戸惑いを感じた児童もいましたが、勇気を持って飛び込んでくれていました。参加してくれた児童には貴重な体験となったようです。



海に飛び込む様子

## 学校の取組(地域貢献活動)

### ●尾道みなと中学校自由研究・広島丸船上教室開催

9月27日(土)、一般社団法人海洋共育センター主催のもと、尾道みなと中学校の生徒を対象とした「尾道みなと中学校自由研究・広島丸船上教室」を尾道港にて開催しました。本イベントは、地域の中学生に海事教育の魅力を体験してもらうことを目的とし、本校の練習船「広島丸」を活用して実施しました。

当日は天候にも恵まれ、みなと中学校の生徒10名、保護者1名が参加されました。参加者は乗船後、3つの班に分かれて「操舵体験」「海図教室」「内航海運の説明・学校紹介」「アマモの説明・機関部見学」の4つのプログラムを体験しました。

体験終了後に参加者から「実際に船を操縦できて感動した」「海図の見方が面白かった」「学生の説明がとてもわかりやすかった」といった声が寄せられ、海事分野への関心を深める貴重な機会となりました。



広島丸操舵体験中の参加者

### ●沖浦恵美須神社秋季大祭「權伝馬」に学生が参加

10月5日(日)、大崎上島町沖浦地区にて開催された恵美須神社秋季大祭に、本校学生12名が参加しました。

伝統行事である「權伝馬」において、学生たちは漕手(漕子)として地域の皆様とともに船を漕ぎ、祭りを盛り上げました。

当日は晴天に恵まれ、絶好の祭り日和となりました。昼食時には、学生たちが地域の方々と歓談し、世代を超えた交流が生まれました。

今後も地域との連携を大切にし、学生が地域の文化や人々と触れ合う機会を積極的に設けてまいります。



權伝馬の様子

# ニュースダイジェスト

## ◇入学式を挙

4月6日(日)、穏やかな春の陽気の下、1年生139名、編入学生1名、留学生1名、専攻科産業システム工学専攻4名が入学しました。

逸見校長からは「しっかり食事をとり、部活や勉強に全力で取り組んでほしい。そして優しさと誠実さを大切にし、責任感を持って自由に生きてほしい」と式辞があり、商船学科 川俣学生が新入生総代として宣誓を行いました。

また、学生会長から「学生主体の環境を積極的に利用し、活気あふれる学校を一緒に作っていきましょう」と歓迎の挨拶がありました。」と歓迎の挨拶がありました。



## ◇EXPO2025大阪・関西万博「高専未来チャレンジ」に本校出展

6月18日(水)・19日(木)、大阪・関西万博会場内「EXPOメッセWASSE」で開催された「高専未来チャレンジ」に、本校が出展しました。

本校は、海事分野におけるサイバーセキュリティ対応演習をテーマに、未来の海上輸送の安全性とデジタルトランスフォーメーション(DX)の重要性を来場者に伝える展示を行いました。

当日は、本校の学生7名も出展に参加し、来場者に本校の取り組みを丁寧に説明しました。参加した学生にとっても、万博という国際的な舞台上で最先端技術を社会に発信する貴重な経験となりました。



## ◇卒業証書・修了証書授与式を挙

9月21日(日)、商船学科卒業式、海事システム工学専攻修了式を挙りました。(商船学科航海コース20名、機関コース20名、海事システム工学専攻3名)

逸見校長から、卒業生・修了生一人ひとりに証書授与が行われ、「船員は人生を託すに足る職業だと確信を持って言える。だから朝日夕日の照らす水平線、月夜のなぎの海の美しさを堪能できるこの仕事に、まずは堪えて頑張ってください」と激励の言葉がありました。



# ニュースダイジェスト

## ◇「大崎上島町第3次長期総合計画シンポジウム =大崎上島町の島の未来をみんなと語る日=」に学生が参加

10月13日(月・祝)、大崎上島文化センターにて開催された「大崎上島町第3次長期総合計画シンポジウム =大崎上島町の島の未来をみんなと語る日=」に、本校の学生3名(流通情報工学科3年児玉 活宜、村田 亜樹、流通情報工学科2年石田 恵美理)がパネリストとして参加しました。

学生たちは「大崎上島全自動化」をテーマに、無人移動スーパーやドローン配送、島の特産品の活用など、未来のモデル地域としての可能性をスライドを用いて発表し、それぞれの立場から得た視点を活かし、自由で柔軟な発想で地域課題に挑戦しました。

また、町長とのパネルディスカッションでは、学生たちが地域の魅力化や「また帰ってきたいくなる島」にするためのアイデアについて、堂々と自分の考えを述べ、町長からの問いかけにも的確に応答する姿が印象的でした。若い世代ならではの視点と行動力が、会場の参加者にも大きな刺激を与えました。



## ◇知財ビジネスアイデア学生コンテスト「審査委員特別賞」受賞

流通情報工学科の学生(金原 董さん(4年生)、近藤 瑚々さん(4年生)、近藤 愛花さん(3年生)、清田 結愛さん(3年生)が、「Kamijima Bijou」という地域ブランドのアイデアについて発表を行い、知財ビジネスアイデア学生コンテスト「地域ブランド部門」において、全国の高等専門学校として初めて審査委員特別賞を受賞しました。

「知財ビジネスアイデア学生コンテスト」とは、経済産業省近畿経済産業局が主催する学生ビジネスアイデアコンテストです。

社会課題解決をテーマとして学生の発想力や企画力をもとに、知的財産を学びながら、「特許部門」「デザイン部門」「地域ブランド部門」の3部門で新たなアイデアを提案してもらうことに取り組んでおり、大阪・関西万博会場 EXPOメッセ(WASSE)(大阪府夢洲)で行われた最終審査会では、全国から133チームのうち書面審査および一次審査を通過した12チームが参加しました。



## 国際交流室活動

グローバル化が進んでいる現代社会で活躍するエンジニアとなるためには、国際的なコミュニケーション能力は欠かせません。国際交流室は、外国人留学生の受け入れを全面的にバックアップしているほか、本校の学生に様々な国際交流の機会を提供し、学生と海外大学との交流活動を推進しています。

本校が主催する海外語学研修は例年8月下旬から2週間、フィリピン首都マニラで開催してきましたが、治安の関係により今年度は、香川高専と宇部高専と共同でマレーシアのマラ工科大学(UiTM)で開催しました(図1)。



図1 語学研修の修了式(令和7年9月)

今年度からの取組として、本校と日本・マレーシア技術学院(JMTI)が共催する国際共同発表会(2025 JMTI-Hiroshima College Joint Seminar on Multidisciplinary Research and Distinct Culture)を開催しました。本校7名学生と教員2名が英語での研究発表を行い、本校の学生がBest Presentation Awardを受賞しました(図2)。また、電子制御工学科・流通情報工学科4年生の研修旅行訪問先に選択制で韓国を取り入れました。参加した48名の学生は産業博物館見学や世界遺産観光を行いました。(図3)



図2 合同発表会授賞式(令和7年12月)



図3 CD4年生研修旅行(令和7年11月)

この他に、8月にはフィリピンの商船大学NTMA(NYK-TDG Maritime Academy)へ4名の商船学科の学生を派遣し、授業体験研修を行いました。9月には留学生支援として本校が新しく迎えた留学生をチューター学生が広島(広島市・尾道市)を案内する社会見学を実施しました。2月には本校の留学生全員で研修旅行(大宰府市等)を実施する予定です。さらに、中国地区の高専と協働した国際交流活動として、7月に呉高専主催で開催された「アジアDAY」に1名の留学生が参加し、10月に津山高専主催で開催された「グローバルリーダー育成塾2025」に本校の留学生4名が参加しました。



## 新任教員紹介



商船学科  
助教  
江草 佳弘

この度、広島丸の技術職員から広島丸教員一等航海士に配置換えとなりました。江草佳弘と申します。新任教員挨拶ということで、ページを割いて頂いておりますが、実際には技術職員として30年程度勤務していきまして、令和7年4月より配置換えとなりました。同じ職場に勤務しているとはいえ環境としては大きく変化し未だに少々戸惑ってはいますが周囲の方々に支えられて今が有ると思っています。

学生の皆様とは、今までと接していく姿勢は変わらないと思いますが、今まで以上に分かりやすく、船舶の運航や実習、授業に取り組んで参りたいと思っております。部活は野球部に所属となりました。日々の練習、遠征、時には高野連の役員としての仕事も有り教員にはこのような役割も有ったのかと驚きの連続でした。このような私ではありますが、学生の皆様をお支える一助となるべく微力を尽くしたいと思っております。よろしくお願いいたします。



一般教科  
講師  
水川 航生

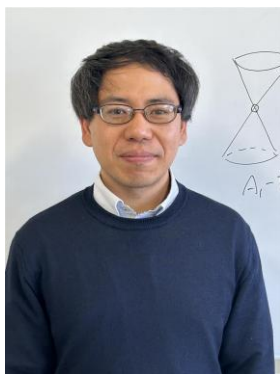
今年度、一般教科・英語科に着任いたしました、水川航生と申します。昨年度までは、広島県内の公立中学校教員として勤務しておりました。

私は生まれも育ちも広島で、現在は広島市佐伯区に在住しています。教員生活のスタートは県北の中規模校でした。当時の冬は近年より遥かに雪が多く、その雪を掻き分けるように通勤した光景は、今でも鮮明に覚えています。その後、2015年から3年間はブラジルのサンパウロ日本人学校へ派遣され、2018年からは交流人事として広島大学附属東雲中学校で4年間教壇に立ちました。また、教職に就いて以来、国際交流事業に携わる機会が多く、ニュージーランドやシンガポール、米国への引率や受け入れ業務を歴任しました。中山間地域から都市部、果ては地球の反対側まで、実に幅広い環境で仕事をし、多くの出会いに恵まれたことは私の財産です。

これまでのキャリアで得た経験は、成長の機会を与えてくださった多くの方々のおかげです。この「進取の気風」を大切に、新たな挑戦を模索していた折、本校とのご縁をいただきました。培ってきた経験と知見を学生の皆さんに還元し、少しでも教育活動に貢献できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



## 新任教員紹介



一般教科  
助教

是枝 由統

令和7年4月1日付けで一般教科(数学)に着任しました、是枝由統と申します。大学では、数学を学び、数学についてさらに知りたい、まだ解明されていない数学的な現象などを解き明かしたいと思い、数学の研究を続けてきました。

元々は自分で数学をすることが好きでしたが、学んでいくうちに数学を教育することにも興味を持ち、ここ広島商船高等専門学校で教員をすることとなりました。

高専では、一般的な高校生よりも、数学を使う機会が身近にあふれており、その中で、数学の必要性を日々感じていることと思います。皆さんが数学をしっかりと身に着けられるようサポートしていきたいと思っておりますので、積極的に学習に取り組み、不明点などは遠慮なくご質問にいらしてください。

また、皆さんが日ごろの専門などの授業で数学をどのように使っているのか興味があるので、時間がある学生さんは是非数学をどのように使っているか、話に来てください。



一般教科  
助教

立浪 諄弥

令和7年4月1日付けで一般教科の助教として着任いたしました立浪諄弥と申します。出身は北海道です。地元の高校を卒業後、昨年度に弘前大学にて博士(理学)を取得しました。専門は理論物理学で、特に重力理論と宇宙論の研究をしています。研究目標は宇宙の基本的な構成要素と物理法則の探究および宇宙の起源と進化の解明です。

授業は数学を担当しています。数学は自然科学だけでなく様々な分野で広く使われています。数学の楽しさを伝えながら、皆さんの技術者としての成長をサポートしてまいります。

教員1年目ですが広島商船高専の環境に慣れつつ、これまでの私の経験を皆さんに還元できるように頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



## 新任教員紹介



商船学科  
講師  
山泉 凌

令和7年4月1日付けで、商船学科の講師として着任いたしました、山泉 凌と申します。出身は静岡県で、高校卒業後、横浜にある大学へ進学しました。学部から博士課程に至るまで内燃機関に関する研究に取り組んできました。これまで、代替燃料を用いたディーゼル機関の機関性能および排気性能の向上に関する研究や、ガソリン機関におけるノッキング抑制制御、多変数を対象とした極値探索制御など、内燃機関の高効率化に関する研究を行ってきました。

教育においては、学生一人ひとりの理解度に配慮し、基礎から丁寧に学べる授業を心がけたいと考えています。また、将来、船員や技術者として社会で活躍するために必要な専門知識だけでなく、礼儀や責任感、周囲と協力する姿勢を身につけることも大切にしていきたいと思っています。

まだ至らぬ点も多いですが、学生の皆さんと向き合いながら、教育・研究の両面で商船学科に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



総合科学科  
電子情報システム系  
助教  
豊嶋 奏多

令和7年度より本校の総合科学科(電子制御工学科)に着任いたしました、豊嶋奏多と申します。大学では工学、大学院では教育学を学び、工学と教育学の繋がりを考える日々を過ごしております。

私の夢は、学生と共に考え悩みながら物事に取り組むことです。学校で行うことや先生に教えてもらうことには、必ず正解があるように思えます。しかし、社会に出れば全てがそうではありません。答えが定まっていない問いや、正解が明らかになっていない問いも数多く存在します。学生の皆さまには、そんな問いにぶち当たった時に自分の力で答えを導き出せる、そんな人になってほしいと願っております。そのためにも、学生と共に悩んで考え抜いて、一緒に答えを導き出していきたいのです。

これから先、学生の皆さまも様々な問いにぶつかることでしょう。そんな時、自分なりの解決策でその問いを排除して進んでいけたら私は嬉しいのです。そして、きっとその度に成長できるのだと信じています。そのため力を、ぜひ本校での学びを通して身につけてほしいです。私の力ではまだまだ足りないかもしれませんが、学生の皆さまの成長の一端を担うことができれば幸いです。

学生の皆さまの学校生活が充実したものになりますように。これからよろしくお願いいたします。



## 新任教員紹介



総合科学科  
流通情報マネジメント系  
助教

岡島宏樹

令和7年4月1日付で総合科学科に着任いたしました、岡島宏樹と申します。静岡県出身であり、大学院で博士号を取得後、3年間一般企業に就職していました。前職では主にデータ分析やそのツール作成の業務に従事していました。その経験もあり、本校では統計学の授業を担当しています。しかし大学では、統計学やデータ分析ではなく数学を専攻していました。主に位相幾何学の研究を行っており、現在も継続して取り組んでいます。

他の先生方に比べて少し特殊な経歴ではありますが、その経験を本校での教育に活かしていきたいと考えています。一般企業で培った実践経験・応用力と、数学の研究で培った理論に基づく数理的アプローチを活かして、将来学生にとって有益となる教育を心がけています。

教育の現場は未経験で、研究と教育の両立は非常に難しいと日々実感しております。至らない部分もあるかと思いますが、何卒宜しくお願い致します。

発行年月 令和8年3月  
編集・発行 独立行政法人国立高等専門学校機構  
広島商船高等専門学校  
住所 〒725-0231  
広島県豊田郡大崎上島町東野4272-1  
電話 代表 0846-65-3101  
総務企画係 0846-67-3000  
ホームページ <https://www.hiroshima-cmt.ac.jp>